

成美地区

1. 目指すべき景観像

明治時代の産業文化と 自然景観が融合した ^{せいび}成美地区



ほうもん
豊門公園 和田邸(もみじ祭開催時、ライトアップ)

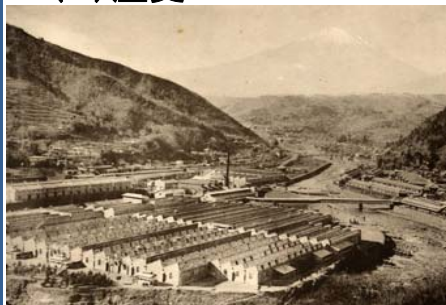


富士見橋からみた富士山と鮎沢川

成美地区は、「明治産業文化資産が残る地区」と「豊かな自然が残る地区」の2つの側面があるため、それぞれについて地域特性及び景観づくりを進める方向性を整理します。

①明治産業文化資産が残る地区

(1)歴史



明治時代、富士紡績株式会社と共に成長した成美地区

明治22年4月の町村制により、六合村(現在の成美地区)が誕生し、同年に小山駅(現駿河小山駅)が開設されました。そして、鉄道幹線の開通と豊富な水、戦前期日本の基幹輸出産業であった蚕糸業の普及と拡大、日本の工業化を先導した富士紡績株式会社の進出により、一寒村であった成美地区の人口は、商人や営業者が参集して商店街等が形成され、商工業・金融・交通等の地域的拠点として発展しました。人口は富士紡績の隆盛と共に増加し、大正12年には小山町立成美小学校の児童数は1,600人を超えました。この後、時代の変革・技術革新の波に乗れず、紡績業が衰退すると共に、小山町の人口は、昭和35年の28,900人をピークに平成30年12月31日現在では18,900人まで減少し、かつて栄えていた駅前商店街も空き家やシャッターを閉める店舗が目立っています。

このように、富士紡績と共に歩んできた成美地区には、富士紡績工場に関連した産業文化資産が残され、今でも地元のシンボルとなっています。

(2)JR御殿場線 駿河小山駅



明治22年に小山駅が開業し、富士紡績進出の大きな要因となりました。昭和9年には東海道本線から地方線の御殿場線となり、昭和27年に駿河小山駅に改称されました。

平日は、地元住民の通勤・通学の手段として利用されていますが、休日は、駅から富士箱根トレイルやゴルフ場、富士霊園行きのバスが往来するため、観光目的の利用が多くみられます。

駅舎は昭和43年に改築され、現在の姿となっていますが、平成24年駅舎の無人化により、駅舎施設及び駅前広場の日常管理がされず、施設の老朽化が著しく進んでいます。また、駅前広場の向かいでは、観光案内所の建物を利用し、地元住民による町の駅を運営し、駅利用者に向けておもてなしのサービスを実施しています。こちらも建物の老朽化に加え、周辺景観に調和していない外壁や、看板が設置されており、駅舎・駅前広場一体の景観改善が必要となっています。



<景観形成の主な課題>①(1)～(3)

- ・明治産業文化資産(豊門公園・森村橋等)の適切な整備・保全・管理及び、PR
- ・駅前通りの空き家・空き店舗の管理による景観改善
- ・老朽化や周辺景観に調和していない、駅舎を含めた周辺公共施設の改善



(3) 明治産業文化資産



ほうもんこうえん
豊門公園

豊門公園内には、大正13年に死去した、富士紡績和田豊治社長の遺志により、東京都の向島にあった邸宅を、現在の公園内に寄贈・移築され、大正15年に会館式が挙行されました。より多くの人に地区の歴史や魅力に触れてもらえるよう、平成29年度に公園内を修景し、平成30年度以降は建物の改修を行っています。

公園内は地元住民の憩いの場となっており、散歩やランニングを楽しむ姿が見られます。また、毎年もみじ祭りが開催され和田邸内を公開しています。



もりむらばし
森村橋

富士紡績創業10年を記念して建設され、名称は富士紡績の創業に関わった森村市左衛門に由来しています。森村橋は富士紡績工場の引き込み線の橋として建設され、原位置に現存し、明治期に制作された数少ない国産トラスの1つとなっています。

現在は、老朽化のため通行禁止となっていますが、現在当時の姿への復原改修をし、橋上公園として整備しています。

②豊かな自然が残る地区 金太郎ゆかりの地

(1) 点在する金太郎ゆかりの地



市街地は富士・箱根・丹沢の各山系の山間にあり、中央に鮎沢川が流れています。ここから北側に位置する農村地区では、里山や田園等自然風景が残る地域となっています。

近年は国道246号のインターチェンジの改修や、第2東名自動車道の工事が進み、景観が大きく変わると予想され、適切な景観誘導が必要となる地区となります。

またこの地域周辺には、足柄山の金太郎ゆかりの地として様々な伝説が残されており、言い伝えにまつわる資産が点在しています。中でも、平成29年度にリニューアルをした金時公園内にある金時神社では、金太郎のように元気な子が生まれるように、妊産婦の健康祈願祭が執り行われ、町内外から参拝に訪れます。地区内でも金太郎が描かれている看板やモニュメントがあり、金太郎生誕の地を感じ取れる雰囲気がある反面、老朽化したものや破損したものは良好な景観を阻害する要因にもなっています。



<景観形成の主な課題>②(1)

- ・金太郎が描かれている看板等、老朽化による景観阻害
- ・自然風景に調和する景観誘導

3. 対象エリア

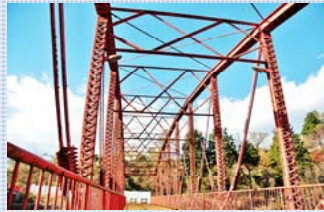


地域特性や景観づくりの方向性から、景観目標と景観づくり方針を整理します。

明治時代の産業文化と 自然景観が融合した 成美地区

目標1

駿河小山駅を起点に、
明治産業文化の歴史
が薫る景観形成



目標2

豊かな自然と
金太郎伝説の史跡を
楽しめる景観形成



景観づくり方針

- ①明治産業文化の歴史を感じる景観づくり
- ②来訪者と住民の快適性を併せ持つ駅周辺の景観形成

景観づくり方針

- ①金太郎ゆかりの地を気持ちよく迎えることができる景観づくり
- ②豊かな自然と調和がとれ、四季折々の景観が楽しめる空間づくり

各エリアの特性に合致した景観形成

目標1 駿河小山駅を起点に明治産業文化の歴史が薫る景観形成

方針1-① 明治産業文化の歴史を感じる景観づくり（※明治文化産業資産 豊門公園・森村橋等）

	取組み	実施主体
短期	● 豊門公園等の公園・緑地・建築物の管理組織の形成 ● 明治産業文化資産のPR ● 景観計画による景観重要公共施設に指定の検討（豊門公園・森村橋等）	● 町・住民 ● 町 ● 町
中・長期	● 明治産業文化資産の統一的整備・保全・活用 ● 景観に配慮した公共施設及び周辺設備の改善（資産周辺のフェンス等） ● 景観に配慮した統一感のある看板設置 ● 地区住民の景観・明治産業文化資産に対する意識向上と人材育成	● 町 ● 町 ● 町 ● 町・住民

方針1-② 来訪者と住民の快適性を併せ持つ駅周辺の景観形成

	取組み	実施主体
短期	● JR御殿場線沿線の除草・清掃 ● 駅前周辺・駅前通り等人目に付く空き家・空き店舗等の利用促進による景観改善	● 事業者 ● 町
中・長期	● 景観に配慮した安全な歩道整備 ● 駅舎・まちの駅金太郎・駅前広場等の改修・修景 ● 駅から明治産業文化資産への誘導 ● 景観に配慮した、駅前再開発の実施 ● 屋外広告物の規制・誘導	● 県・町 ● 町・事業者 ● 町 ● 町 ● 県・町

目標2 豊かな自然と金太郎伝説の史跡を楽しめる景観形成

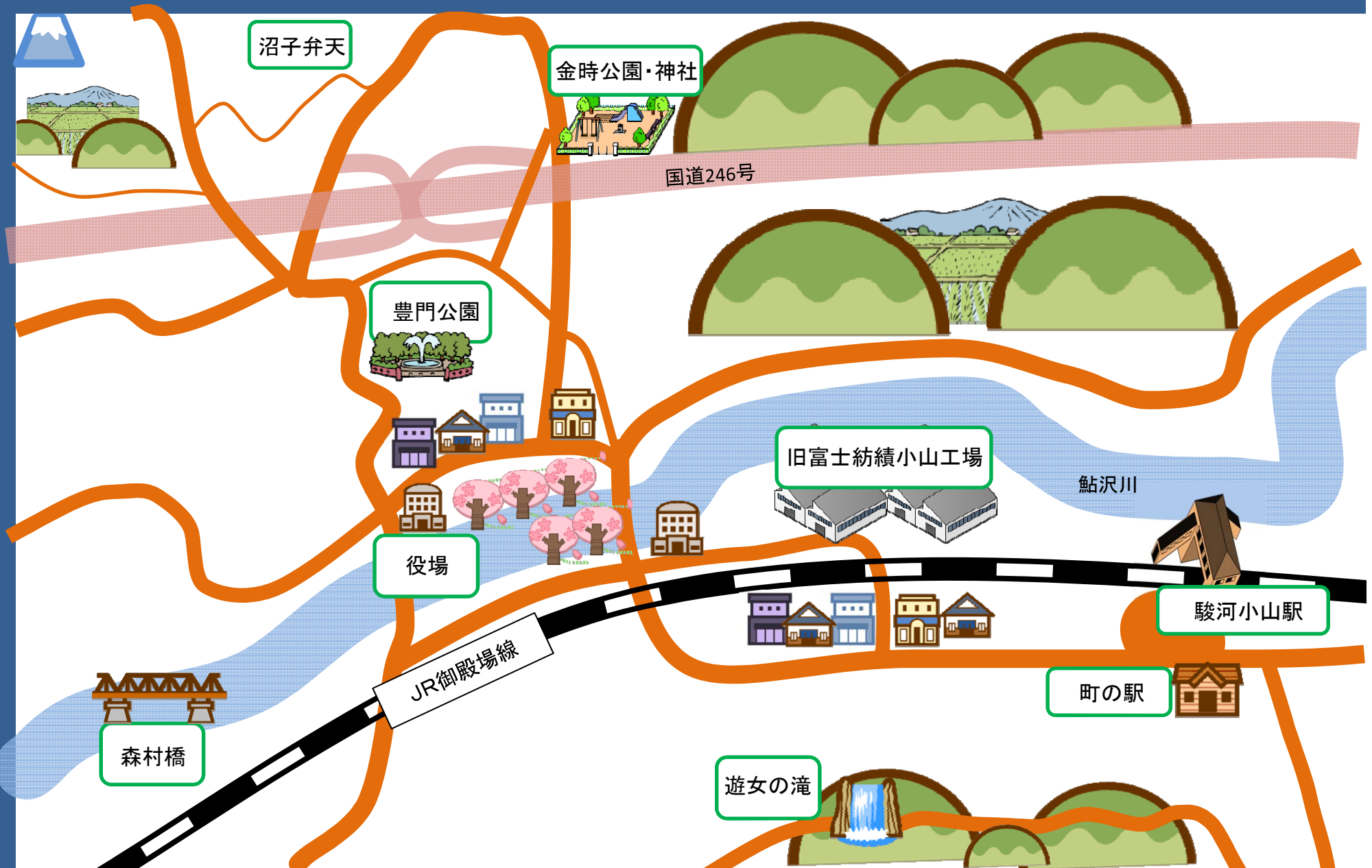
方針2-① 金太郎ゆかりの地を気持ちよく迎えることができる景観づくり

	取組み	実施主体
短期	●金太郎ゆかりの史跡の保全・管理(金時公園・金時神社・沼子弁天等) ●金太郎伝説・史跡のPR ●景観に配慮した、金太郎が描かれている看板等の修景	●町・観光協会・住民 ●町・観光協会 ●町
中・長期	●景観に配慮された、金太郎史跡を迎えることができるサインの整備 ●金太郎史跡を安全に迎えることができる、ルート整備 ●金太郎デザインのガイドライン作成	●町 ●町 ●町

方針2-② 豊かな自然と調和がとれ、四季折々の景観を楽しめる空間づくり

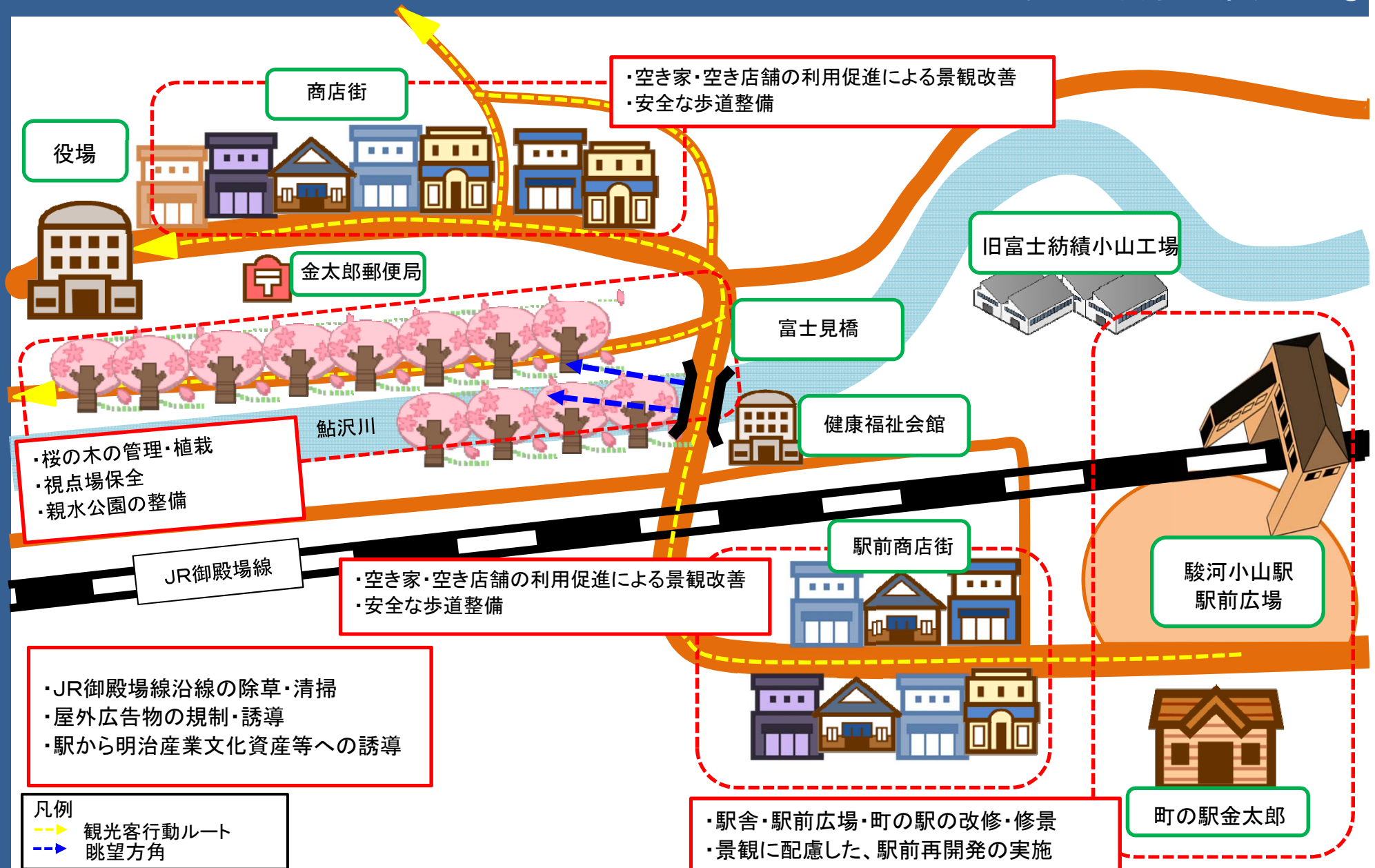
	取組み	実施主体
短期	●桜の木の計画的管理及び植栽 ●美しい田園風景の景観保全 ●景観阻害樹木等の除去 ●生土地区からの視点場保全	●町・住民 ●町 ●町・住民 ●町・住民
中・長期	●鮎沢川沿いに河川空間を利用した、景観に配慮された親水公園の整備 ●景観に配慮された、統一感のある看板・サインの整備 ●生活美観の推進(個人宅庭先の美化推進) ●屋外広告物等の規制・誘導	●県・町 ●町 ●町・住民 ●町

6. 景観施策のイメージ図





6. 景観施策のイメージ図



方針2-①② 豊かな自然と金太郎伝説の史跡を楽しめる景観形成 ⑪

6. 景観施策のイメージ図

